

町民と語る会を開催

11月4日から12日に、町内の各地区において町民と語る会を開催しました。夜の開催にもかかわらず74名の参加がありました。町長の行政報告と、現在策定作業を進めているふるさと創生総合戦略の概要やマイナンバーカードについて説明を行い、町民のみなさんと意見交換を行いました。その概要をお知らせします。

町長からの行政報告

●農業指導員による研修会

30名、40名の受講があるというところで、来年に向けて継続していきます。

●パイプハウスリース事業

今年度は、11棟のパイプハウスの設置を完了し、農家の方々が生産活動に入っている状況です。

●有害鳥獣対策補助金の拡充

補助率を1/2から、2/3助成に引き上げました。今年度は申請の件数が増えており有害鳥獣対策に効果があったのではないかと思います。

●林業関係

町内の林業関係者らで懇談会

●地域担い手づくり支援住宅

現在、地域担い手住宅の建設を2棟進めており、3月末までには入居ができるようになります。入居者は白石市と仙台市からで、春には6名人口が増える予定です。

●世代間交流住宅

国保診療所の隣に7世帯入居の住宅建設を進めており、入居の募集をしているところです。現在のところ2世帯が申込をしており、利用について町内の企業にも呼びかけをしていきたいと考えています。

●移住定住対策

湯原・田中地内の古民家を改修し、七ヶ宿の暮らしを体験するゲストハウスとして、活用します。移住定住の情報発信の拠点ともなります。間もなく発注になり2月末を完成予定にしています。

●空き家対策

空き家調査を行っており、空き家台帳を整理し、移住定住に向け活用をしていきます。移住の方々に協力いただき、空き家の賃貸などの仕組みも考えていきます。

●子育て支援

出生時、小学校入学時、中学校入学時、高校入学時の時期に支援を行います。今年度は29件の279万円となります。残念ながら出産は1名だけです。

●保育料

保育料の減免を1/2→2/3に拡充しました。学校給食費も1/2助成し、子育て世帯の支援を行っています。

●都市との交流

町民のみなさまには、わざわざ歩こう七ヶ宿にご協力をいただいております。10月に七ヶ宿ダム公園内に、パークゴルフ場をプレオープンさせました。みなさまのご意見を

利用しているのは町内の方より、白石など町外の方の利用が多いようです。今後町内でも講習会などを開催することも可能です。

独身が多いので出会いの場をつくって欲しい。

丸森町で民間の結婚相談事業者に依頼している取り組みがあります。参考にできるところは七ヶ宿町でも取り入れたいと思っています。

町営バスの白石線最終便と町内便の接続運行をお願いしたい。

以前から要望があった件ですが、最終バスを運行したドライバーが、翌朝の最初の便の運行を行うこともあるので、今の人員では難しいという状況にあります。そのため人員を増やすことも難しいところです。委託事業者を含めて検討します。

農産物の放射能測定はいつまで必要なのですか。

県にも確認していますが、明確には言えません。現状では安全な農産物を提供するという点では検査を欠かすことができません。

マイナンバーは必ず申請が必要

なのでですか。

郵便で届いた紙のカードがマイナンバーのカードです。顔写真入りのプラスチックカードにしたい方は申請が必要になります。顔写真入りだと身分証明証になりますし、紛失したときに不正に使われることが難しくなると思います。役場や警察からナンバーを教えてほしいということは絶対ないので、気をつけてください。

旧・道の駅ありやはどうなるのですか。

利用したいという申し出もありませんが、新・道の駅との兼ね合いでお断りしています。使うにはトイレなど改修しないと使えない状況です。解体するのに多額の費用がかかるので解体は考えていません。使い方を検討していきます。

ふるさと創生総合戦略について

2040年の人口を1,062人と設定した理由は何ですか。また、人口747人でも自治体として存続できるのですか。

このままいけば747人になるという推計データがあるため、

まずは1,000人を維持したいと考えました。出生率、子育て世代の移住、Uターンなどの具体的な目標を設定しこの数字を算出しています。人口747人でも自治体の存続は可能です。他県にも700人台の自治体は存在しています。

町外への通勤補助とはどういう内容ですか。

住むのは七ヶ宿、働くのは町外という生活も奨励します。七ヶ宿から通勤してもらうよう考えていきます。

保健医療の充実とありますが、診療所の夜間医師不在をどう考えていますか。

県からの派遣で自治医科大出身の先生に来てもらっています。これからも町内に居住して、診察に当たっていただくことをお願いしていきます。医師にも休みは必要なので、365日24時間体制ということではなく、医師が不在のときにはどこに連絡すれば良いかなど、分かりやすく住民の皆さんにもご理解いただける体制にしていきます。

地域おこし協力隊を増やしていくというが、1年で辞める方も

をいただき来年の春に正式にオープンをします。

●女性委員会

若者定住や結婚や子育て、特産品の開発などに女性ならではの意見をいただくため、女性委員会を立ち上げました。いただいた提言の何点かは地方創生の総合戦略にも入っています。

●柏木山放牧場太陽光発電事業

農業振興区域の除外手続きが終わり、発電事業者の公募を行いシャープ(株)と土地使用の仮契約を結んだところです。農地転用の手続きを進め、平成30年からの発電を目指します。

意見交換

ダム公園にパークゴルフ場を設置しましたが、用具の貸し出しはしていますか。町内にパークゴルフ愛好者はどれくらいいますか。利用者は町外からも来ていますか。パークゴルフ人口を増やすために指導をお願いしたい。

今年度は水と歴史の館で、用具を12セット無料で貸し出ししています。来年度は有料になります。町内には滑津地区を中心に15名くらいの愛好者がいます。

いる。役割をどう考えているのですか。定住に結びつくために任期後の体制をどう考えていますか。

1年の活動の中で様々な考えに及んでくるのだと思います。活動内容は応募条件に明記しており、単にお手伝いということではなく、希望した分野を中心に活動してもらっています。隊員の任期後の夢の実現に協力していきます。または仕事を斡旋できるようにしていきます。ゲストハウス運営も雇用の場として考えていきます。



干蒲地区の語る会の様子